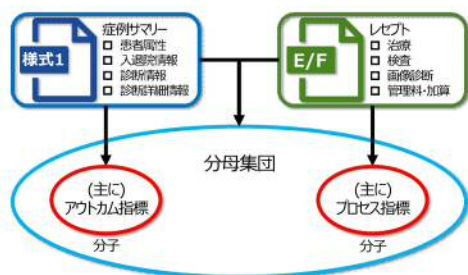


IV. DPC指標測定分析の特徴

1. DPCデータを用いたQI指標(DPC指標)の特徴

QI指標として用いられるDPCデータは①様式1ファイル②EFファイルであり、①は一入院における症例サマリーで主にアウトカム指標として、②はその請求情報で主にプロセス指標として用いられます。また、分母のフィルタリングに頻繁に用いられるのがコーディングデータです。従って、コーディングの精度が指標精度に直接的な影響を与えます。また、行った医療行為が適切に請求情報に反映されていることも重要です。DPCデータの作成は今日では医療と切り離せ



ないものになっており、その精度を高めることがQI活動では必須です。

2. 2019年DPC指標

1) 医療の質と診療報酬のリンク

2018年度改定から医療の質と診療報酬上の加算がリンクするものが増えてきています。

◆ 指標54：A238退院調整加算算定数

2018年4月以降、月毎に算定数が増加し、2019年の指標値は大きく上昇しています。各施設が地域連携の質向上に約半年をかけて取り組んできた成果と言えます。

◆ 指標18：B001-6肺血栓塞栓予防管理料

手術数の大小にかかわらず、高値が維持されています。ただし、そのアウトカムとしての肺塞栓症発症数は症例数が非常に小さく評価はできません。

2) 症例規模の影響

指標値を評価する際に、症例規模を意識すると一定の傾向が見えてくることがあります。

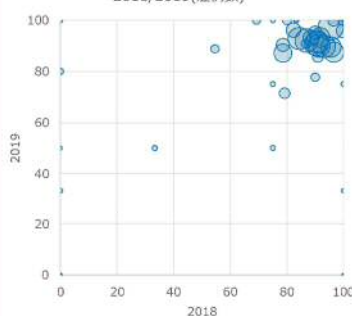
◆ 指標厚10 急性心筋梗塞患者におけるアスピリン

中央値では上昇が見られていますが、受入数の多い施設では高値安定していることが解ります。

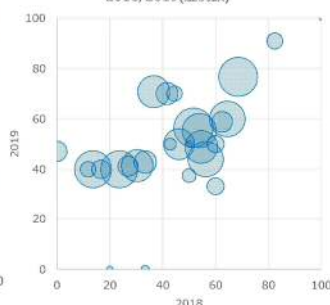
◆ 指標厚11Door-to-Balloon

指標値にバラツキがありますが、指標値の大きい施設では全体に上昇が見られています。地域シェアを考慮すると、指標値を上昇させる人員等が乏しいにもかかわらず、症例がある等の地域事情が伺われます。

指標厚10 急性心筋梗塞患者におけるアスピリン
2018/2019(症例数)



指標厚11Door-to-Balloon
2018/2019(症例数)



◆ 指標厚12早期リハビリテーション

中央値では低下が見られましたが、症例数を加味してプロットすると、逆に症例数の多い施設では増加の傾向が見

られます。

その他、指標33A急性脳梗塞発症から3日以内のリハビリテーション開始割合では、症例規模の大きい施設で上昇傾向が見られていますが、要因ははっきりしません。

また、指標19血液培養平均実施回数や指標20VCM濃度測定は、分母規模の大きいところでは高値安定が見られています。症例数等、分母規模の大きい施設では、一定のプロセス構築は行われていると考えられ、高値を維持することが出来るのではと思われます。一方で分母規模の小さい施設では、同様のプロセスを維持することが困難なのではないかと考えられます。

3) その他、特徴のある指標

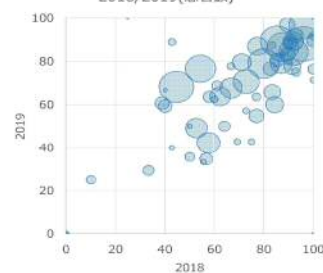
◆ 指標43A肺炎球菌尿中抗原実施率

症例規模が一定あってもバラツキの大きな指標です。一方で経年的変化があまり見られていません。低コストの検査であるにもかかわらず改善が乏しい要因として、抗菌薬曝露の多い高齢者が多いことや、誤嚥性肺炎のコーディング精度の関連があるのかもしれない。

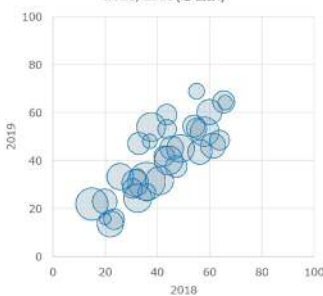
◆ 指標48急性胆嚢炎入院患者における入院2日以内超音波検査実施

症例規模によらず、指標値のバラツキが大きくまた、改善の傾向も一定ではありません。検査の簡便性(自分で実施しない)、再現性(=保存性)など、救急の現場の実情が反映されているのではないかと伺われます。

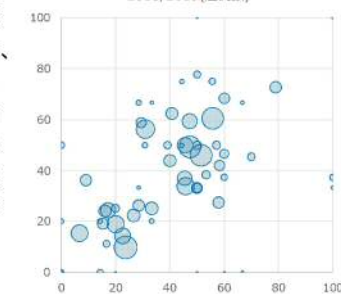
指標厚12早期リハビリテーション
2018/2019(患者数)



43A尿中抗原実施割合
2018/2019(患者数)



指標44急性胆嚢炎入院患者における入院2日以内超音波検査実施
2018/2019(症例数)



4) 指標定義により改善結果が可視化されにくいもの

指標44B院内肺炎患者の抗生剤投与日数では、院内肺炎の誘因としての抗生剤長期投与の評価なのか、院内肺炎における抗菌剤適正使用の評価なのか識別できません。指標厚22A広域抗菌薬使用時の血液培養実施率では、標的治療として広域抗菌薬にescalationする際の血液培養の有無が判別できません。さらには、DPCデータは「時間」の概念を持ちませんので、その起点の間からは±1日の差が発生します。厚15予防的抗菌薬、指標23薬剤師介入までの日数ではこの影響が見られる可能性があります。これらでは、大まかな評価としては用いることが出来ませんが、詳細な評価では独自に指標収集を行う必要があるでしょう。